

【2026年度 企画運営委員会 事業計画・自己評価・事業報告】

○目的 大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「3. 県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供」と柱「4. 県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築」に向けて、以下の取組課題3点について、取り組む。

○委員校 【2026年4月～5月】委員長校：神戸学院大学、副委員長校：関西学院大学
 (全：11校) 委員校：関西国際大学、甲南大学、神戸大学、神戸松蔭大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、兵庫教育大学、兵庫県立大学、芸術文化観光専門職大学

○中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標/予算等

課題及び期待される効果	取組	達成目標	活動指標	予算(千円)
課題⑧ 県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進 近年、加盟校においても取組が進む社会人教育に着目して、加盟校並びに産官学連携のネットワークを活用した「リカレント教育」の普及促進に寄与する。加盟校の特徴を活かしたリカレント教育の理解促進を図ることができる。	1. リカレント教育の普及促進に向けた取組	・各年参加者数50名以上	大学・企業関係者による講演・意見交換会(年1回以上)	426 (受託事業収入)
	2. 加盟校のリカレント教育に関する情報発信	・各年10校以上		
課題⑨ 大学資源を活用する地域プラットフォームの形成 定期的に加盟校の情報を収集することで、地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充、並びに、緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築ができる。	1. 大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築			
	1-1 「兵庫県」大学生等インターンシップ推進事業～テーマ型企業理解プログラム～		大学・企業関係者による意見交換会(年1回以上)	4,900 (受託事業収入)
	1-2 「兵庫県」WLB推進事業～WLB認定企業による出前講座～	・大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充 ・参加者数50名以上/年		1,000 (受託事業収入)
	1-3 賛助会員と加盟校の懇親会・コンソ設立20周年記念式典等、企業・自治体課題解決プログラムー共創CAMPUSー			900
	2. 緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築			
	産官学連携協議会、リスクマネジメント等	・緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築 ・参加校・団体数10校・団体以上/年	大学・企業関係者による意見交換会(年1回以上)	100
課題⑩ 県内大学が活性化する事業運営体制の整備 事業運営体制が整備されることで、同じ課題を有する加盟校による小グループで課題の共有、ICTの活用、プロジェクト型での事業推進など、加盟校のニーズと実態に合わせた事業運営を実現できるようになる。加盟校が協働して大学間連携事業に取り組むことで、県内大学の活性化につながる。	1. 加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進	・加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築 ・アンケートの実施1回以上/年	企画運営委員会等における懇談の実施(年10回以上)	500

【2026年度 企画運営委員会（⑧取組1・2）】リカレント教育の普及促進に向けた取組・加盟校のリカレント教育に関する情報発信

事業計画（4月記載）		自己評価（12月記載）			事業報告（3月記載）				
<p>兵庫県委託事業「令和8年リカレント教育推進事業」 委託期間：令和8年4月1日～令和9年3月31日</p> <p>目的：2040年を見据えた高等教育の将来像において、社会人を含む多様な学習者に対応したリカレント教育の推進が重要な課題となっている。本事業では、産官学の連携強化と教育体制の柔軟化を進め、県内大学の特色ある取組や成果を広く共有することで、今後の展開を展望する機会を創出する。</p> <p>さらに、コンソーシアムのネットワークを活用し、大学教職員および企業の人事担当者の理解を深め、リカレント教育推進に向けた気運を高めるとともに、県内大学が実施する講座の情報発信の充実を図る。</p> <p>受託・運営する業務内容は以下のとおりとする。</p> <p>【取組1】リカレント教育促進に向けた機運醸成 ・リカレントフォーラムの実施 県内大学の教職員および企業の人事担当者を対象に、リカレント教育への理解を深めるための講演を実施するとともに、企業側のニーズを把握することを目的として、大学教職員と企業人事担当者等による意見交換の場を設ける。 開催時期：2026年10月予定</p> <p>【取組2】企業、受講希望者に対する情報発信 ・県内大学のリカレント講座のPR 共同のリカレント講座をコンソHPで公開。地域住民や企業人事担当者などを対象に県内大学のリカレント教育を紹介する。</p>									
<p>達成目標に対する実績 【達成目標】・各年参加者数50名以上 ・各年10校以上</p>									
<p>活動指標に対する実績 【活動指標】大学・企業関係者による講演・意見交換会（年1回以上）</p>									
自己評価基準：対到達目標※									
自己評価基準：対継続性※									
事業収支	収入	426,000円	支出		収支		支出		収支
理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）									
※自己評価基準：対到達目標		4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った			※自己評価基準：対継続性		4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき		

【2026年度 企画運営委員会（⑨取組1-1）】「兵庫県」大学生等インターンシップ推進事業～テーマ型企業理解プログラム～

事業計画（4月記載）			自己評価（12月記載）			事業報告（3月記載）					
<p>兵庫県労政福祉課委託事業 「令和8年度大学生等インターンシップ推進事業（テーマ型企業理解プログラム）」 委託期間：令和8年4月1日～令和9年3月31日 本プログラムを通じて、大学生が特定のテーマのもとで就業体験を行い、兵庫県内の企業や地域、地場産業の魅力を深く理解するとともに、大学生と県内企業の出会いの機会を創出することを目的とする。 受託・運営する業務内容は、以下の通りである。</p> <p>(1) 連絡協議会への参画 関係機関（県、神戸市、労働局、商工会議所、県工業会、県経営者協会、県内の大学等で構成する団体等）による情報交換会に参画し、事業の円滑な運営を図るとともに、中小企業の人材確保方策を検討する。</p> <p>(2) インターンシップ実施に向けた準備 ① 座学・就業体験を含む数日～5日程度で実施 ② 大学や企業と調整のうえ、テーマごとにコースの作成（地場産業型、業界型、WLB表彰企業研究型等） ③ 大学等に対し学生が当事業へ参加できるよう調整を実施 ④ 協力機関（産地組合や金融機関等）と連携したインターンシップ受入企業の開拓</p> <p>(3) インターンシップの運営 ① 効果的な体験実習が行えるよう、就業体験初日に事前学習等を実施 ② アンケート等、参加学生に実習で学んだことを整理し、今後の職業選択等に役立てるための振り返りを実施</p> <p>(4) その他 インターンシップ事業の推進に必要な業務を行う。</p>											
<p>達成目標に対する実績 【達成目標】（取組1-1、1-2合わせて） ・大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充 ・参加者数50名以上/年</p>											
<p>活動指標に対する実績 【活動指標】（取組1-1、1-2合わせて） ・大学・企業関係者による意見交換会（年1回以上）</p>											
自己評価基準：対到達目標※											
自己評価基準：対継続性※											
事業収支	収入	4,900,000円	支出		収支		支出	収支			
理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）											
※自己評価基準：対到達目標			4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った			※自己評価基準：対継続性			4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき		

【2026年度 企画運営委員会 (⑨取組1-2)】「兵庫県」WLB推進事業～WLB認定企業による出前講座～

事業計画 (4月記載)			自己評価 (12月記載)			事業報告 (3月記載)					
<p>兵庫県労政福祉課委託事業 「令和8年度 大学生向けWLB認定企業の魅力発信強化事業」 委託期間：令和8年4月1日～令和9年3月31日</p> <p>本プログラムは、県内企業のワーク・ライフ・バランス（WLB）の理解促進と、WLB認定企業の認知度向上を図り、大学生のWLBに関する理解促進および認定企業の採用力強化につなげることを目的とする。</p> <p>受託・運営する業務内容は、以下の通りである。</p> <p>(1) 大学講義での出前講座実施に向けた準備 ① 出前講座受入企業の開拓 ② 講座実施大学の開拓 ③ 企業選定・内容確認 ④ 大学・企業との調整 ⑤ 講座内容の作成（大学・企業・講師と連携） ⑥ 学生の参加調整</p> <p>(2) 出前講座実施 ① 座学・ワークショップ等による講座の実施 ② WLB認定制度の基礎知識共有（ひょうご仕事と生活センターと連携） ③ 参加学生のアンケート実施・分析・報告 ④ 講座動画の撮影・オンデマンド配信</p> <p>(3) その他 ① WLB認定・表彰企業の事業参加に関する情報共有 ② 事業推進に必要な業務の実施</p>											
<p>達成目標に対する実績 【達成目標】（取組1-1、1-2合わせて） ・大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充 ・参加者数50名以上/年</p>											
<p>活動指標に対する実績 【活動指標】（取組1-1、1-2合わせて） ・大学・企業関係者による意見交換会（年1回以上）</p>											
自己評価基準：対到達目標※											
自己評価基準：対継続性※											
事業収支	収入	1,000,000円	支出		収支		支出		収支		
理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）											
※自己評価基準：対到達目標			4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った			※自己評価基準：対継続性			4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき		

【2026年度 企画運営委員会 (⑨取組1-3)】 賛助会員と加盟校の懇親会・コンソ設立20周年記念式典等、企業・自治体課題解決プログラムー共創CAMPUSー

事業計画 (4月記載)			自己評価 (12月記載)			事業報告 (3月記載)					
<p>2026年度は、加盟校・賛助会員・地域関係者が一体となって参加できる交流と協働の場を提供することを目的とした取組を企画・運営する。これまでの成果を踏まえ、関係者との連携を強化し、学生や教職員にとって意義ある経験の場を創出するとともに、地域社会や産学官連携の発展に資する活動を推進する。</p> <p>●賛助会員と加盟校の懇親会・コンソ設立20周年記念式典等 設立20周年を記念した式典ならびに懇親会を開催し、加盟校や賛助会員、地域関係者との交流の場を創出するとともに、大学やコンソーシアムの役割や今後の連携の方向性を共有する機会とする。(2026年11月開催予定)</p> <p>●企業・自治体課題解決プログラムー共創CAMPUSー 2026年度より、企業および自治体からの課題をもとに、学生が主体的に課題解決に取り組むプログラムを通年で実施する。学生の実践的な学びの機会を提供し、地域社会や産学官連携の発展に資する場を創出する。(通年)</p>											
<p>達成目標に対する実績 【達成目標】(取組1-1、1-2合わせて) ・大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充 ・参加者数50名以上/年</p>											
<p>活動指標に対する実績 【活動指標】(取組1-1、1-2合わせて) ・大学・企業関係者による意見交換会(年1回以上)</p>											
自己評価基準：対到達目標※											
自己評価基準：対継続性※											
事業収支	収入	1,000,000円	支出		収支		支出		収支		
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)											
※自己評価基準：対到達目標			4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った			※自己評価基準：対継続性			4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき		

【2026年度 企画運営委員会（⑨取組2）】産官学連携協議会、リスクマネジメント等

事業計画（4月記載）			自己評価（12月記載）			事業報告（3月記載）		
<p>(1)産官学連携協議会 兵庫県下における大学間連携のプラットフォームとして、加盟校の大学資源を活用した運営体制について意見交換を行う。また、加盟校がすでに有している大学間連携や地域・地方自治体との協力体制について理解促進を図る。 今年度も引き続き、以下の場で定期的に意見交換を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画運営委員会での懇談 ・産官学連携協議会での懇談 ・兵庫県および関係団体との意見交換 <p>(2)リスクマネジメント 感染症や災害等、予期せぬ事態に備えて、リスクに関する情報交換会等を開催し緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築を図る。</p>								
<p>達成目標に対する実績 【達成目標】・緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築 ・参加校・団体数 10校・団体以上/年</p>								
<p>活動指標に対する実績 【活動指標】大学・企業関係者による意見交換会（年1回以上）</p>								
自己評価基準：対到達目標※								
自己評価基準：対継続性※								
事業収支	収入	100,000円	支出		収支		支出	収支
理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）								
<p>※自己評価基準：対到達目標</p> <p>4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った</p>			<p>※自己評価基準：対継続性</p> <p>4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき</p>					

【2026年度 企画運営委員会（⑩取組1）】加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進

事業計画（4月記載）		自己評価（12月記載）			事業報告（3月記載）				
<p>加盟校がコンソーシアム活動に積極的に参加できる事業運営体制の構築に向け、2025年度は、HPやSNS、メルマガ等の多角的な情報発信の活用や学生アンケートの実施により、加盟校間の連携強化と迅速な情報共有を推進した。また、企画運営委員会において、会員制度の見直しや自治体連携、記念事業の検討など、組織運営の活性化・安定化に向けた幅広い議論を行い、今後の事業推進に向けた基盤整備を進めた。</p> <p>2026年度は、これまでの取組を踏まえ、広報媒体ごとの対象者を整理し、効果的な情報発信体制を構築するとともに、加盟校の参画促進とコンソーシアム活動の更なる浸透を目的として、引き続き以下の施策を実施する。</p> <p>●事業運営の効率化、プロセスの可視化や情報管理・共有の充実を図る。 ・HP：加盟校専用ページ 各事業委員会活動や中長期計画Ⅱ期ロードマップの共有化と活用促進 ・HP：トップページ 加盟校の公開講座等イベント情報の継続的な発信と掲載内容の充実 ・note 事業委員会活動の実施報告、加盟校学生の地域活性化に関わる取組の広報強化 ・SNS（Facebook・X・Instagram） 学生・教職員双方に届く情報発信の強化および定期的な運用の継続 Instagramにおける、加盟校紹介の継続的な実施 ・メルマガ配信 加盟校教職員への定期的な情報発信の継続 ・加盟校学生や教職員へのアンケートの実施 調査結果の共有と施策改善への活用 ・情報発信体制の継続的改善 各媒体の役割整理と定期的な運用を継続するとともに、年度末に運用状況の振り返りを行い、次年度の改善につなげる。</p> <p>●企画運営委員会（原則、月1回開催） 自治体・企業等との連携強化、中長期計画Ⅲ期、記念事業の検討など、コンソーシアム事業の活性化・安定化に向けた継続的な議論を行う。 なお、小グループでの課題共有やプロジェクト型での事業推進についても、加盟校等のニーズに応じて企画運営委員会において検討し、対応する。</p>									
<p>達成目標に対する実績 【達成目標】・加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築 ・アンケートの実施 1回以上/年</p>									
<p>活動指標に対する実績 【活動指標】企画運営委員会等における懇談の実施（年10回以上）</p>									
自己評価基準：対到達目標※									
自己評価基準：対継続性※									
事業収支	収入	500,000円	支出		収支		支出		収支
理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）									
※自己評価基準：対到達目標		4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った			※自己評価基準：対継続性		4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき		

【2026年度 企画運営委員会 事業予算】

(単位：円)

予算		各プログラム 予算						委員会 予算	
		⑧取組1・2	⑨取組1-1	⑨取組1-2	⑨取組1-3	⑨取組2	⑩取組1		
		県内大学を活用した 社会人の学び直しの推進	大学資源を活用する地域プラットフォームの形成				産官学連携協議会、 リスクマネジメント		加盟校が活性化する 事業運営体制の整備
			兵庫県受託事業 「テーマ型企業理解プログラム」	兵庫県受託事業 「WLB認定企業による出前講座」	懇親会・20周年記念式典、 企業・自治体課題解決P等				
予算額		予算額	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額		
収入	会費収入	1,500,000			900,000	100,000	500,000		
	助成事業収入	0							
	受託事業収入	6,326,000	426,000	4,900,000	1,000,000				
	プログラム収入	0							
	雑収入	0							
	戻入金	0							
	計	7,826,000	426,000	4,900,000	1,000,000	900,000	100,000	500,000	0
支出	会議費	320,000			300,000	20,000			
	旅費交通費	276,000	40,000	176,000	50,000	10,000			
	通信運搬費	378,600	80,000	138,600	150,000	10,000			
	消耗品費	211,090	10,000	131,090	50,000	20,000			
	新聞図書費	0							
	印刷製本費	783,300		113,300		250,000	20,000	400,000	
	光熱水料費	0							
	賃借料	307,260	20,000	227,260		60,000			
	保険料	0							
	謝金	321,040	120,000	51,040		100,000	50,000		
	租税公課	200	200						
	支払手数料	5,800	5,800						
	諸会費	0							
	委託費	210,000				110,000		100,000	
	人件費	5,012,710	150,000	4,062,710	800,000				
	接待交際費	0							
	支払支援金	0							
雑費	0								
計	7,826,000	426,000	4,900,000	1,000,000	900,000	100,000	500,000	0	

収入－支出	0
-------	---